

【市からのまとめ】

- ・（仮称）下九沢大島線については、さがみ縦貫道路の（仮称）城山インターチェンジができると、津久井広域道路が二本松小学校のところから橋本五差路まで行くが、おそらく津久井広域道路だけではさばき切れなれないと思われる。
- ・ そうなると、大沢地区へ車が多く流れ、住宅街を動き回ることになり、皆さまの日常生活に非常に迷惑なことになる。
- ・ 必然的に交通が発生するが、大沢地区を通ってはいけないとは言えないので、やはり新しい道路をつくり、交通を処理しなければいけないというのが市の考えである。
- ・ しかし、新しい道路ができることに対しては、様々な不安や心配があると思うので、なぜこのルートになったか、今後のスケジュールなどは、しっかり説明をしていきたい。
- ・ 今後、具体的な計画をいろいろ検討した中で、地域の皆さまの声を十分伺いたい。
- ・ 法律に基づいて都市計画決定をしていくことになるが、実際には地権者にご協力いただかなければ、いくら決定してもできない。
- ・ 皆さま全員というわけにはいかないかもしれないが、大方の方が、それはやむを得ない、あるいは大沢地区のこれからのまちづくり発展のためには、そういう方向になるだろうというようなご理解をいただけていきたい。
- ・ これからも様々な場面でご意見を伺っていくので、不安やご意見は、その際に声を出していただきたいと思う。
- ・ 市道下九沢大島及び県道48号（鍛冶谷相模原）については毎年ご指摘があり、誠に申し訳ないと思っている。
- ・ 市道下九沢大島については、まず5年前くらいに市の財政が非常に苦しく、六地藏交差点から大沢小学校前交差点までの改良が中止になってしまった。
- ・ しかし、このまま放置しておくわけにはいけないので、一番障害になっている上中ノ原交差点に右折帯を設けて、車が渋滞しないように一部改良した。
- ・ 谷戸暗渠についても、狭くなっているので、狭隘部を改良する予定である。
- ・ 実は鳩川の改修があり、下流から進めているところなので、谷戸暗渠についてもいずれ改修されると思うが、とりあえず暫定的な改良をすることになる。
- ・ 大沢中入口交差点については、地権者と交渉を行い、了解いただいた中で、改良することで進めている。
- ・ 市道大島429号との交差点についても地権者の了解をいただいた中から改良していきたい。
- ・ 県道48号（鍛冶谷相模原）については、歩道が上がっており、各宅地から車が出る部分を道路とすり付けしている。
- ・ 歩道の整備は最低限必要であり、また高齢化社会になり、お年寄りが増えることを考えれば、バリアフリー化が必要なので、時間の問題はあるが、積極的に取り組んでいきたい。
- ・ 財政負担の問題があるので、いかに重点的につぎ込んでいくかを考えなければならない。
- ・ また、地権者との交渉の問題もあり、地域全体では要望があっても、地権者には財産権があるので、なかなかご理解いただけない部分もある。
- ・ これらの問題をクリアできるように一生懸命努力していきたい。
- ・ どこの地域でもこうした要望があるので、自治会や団体から要望書の形で提出していただくこと

も1つの方法だと思う。

- また、大沢地区には市議会議員が1人もいないので、今後は、皆さまの代表を出していただくことも1つの方法だと思う。
- 市長はこうした計画を検討して予算をつくるが、それを審査する場は議会であるから、議会の力も得る必要があると思われる。
- 放課後子どもプランについては、市長は就任以来、道路などのハードの問題もあるが、今一番の問題は子どもたちが健やかに育っていくことだと考え、一番重点を置いて取り組んでいる。
- 今はお母さん方が勤める機会が非常に増え、待機児童がいるので、放課後の子どもたちをいかに守るかということで、児童クラブの整備を進めている。
- こどもセンターについては公民館区に1つ整備することで進めており、今年度は横山に、来年度は陽光台に設け、23公民館区への設置が終わる。
- 文科省が新たに提案した放課後子ども教室については、1年生から6年生までのすべての子どもが遊べる場で、私立小学校へ通う児童も利用できる。
- また、市では保育園の整備にも取り組んでいるが、保育園はつくればつくるほどニーズが出て、例えば200人の待機児童がいて、100人分保育園を増員すると、次の年にはまた200人近くの待機児童がいる状況になってしまう。
- 母親が働きに出る機会が増えていることや祖父母と同居しない家庭が増えていることで、児童の面倒を見る機会がなくなってきているものと思われる。
- こうしたことからも、保育園の整備に一生懸命取り組んでまいりたい。
- 小児医療費の通院費については、小学校就学前まで無料であったが、今年度から小学校3年生までを無料とした。
- これには1歳あたり1億数千万円かかり、3年分で5億円近くになる。
- また、特別支援教育とって、障害のある子どもが通う学校に補助員を1人増やすことを行っている。
- 最重点課題として、子どもをいかに守るかに力を入れているが、今日話をいただいた道路等についても、できるだけ緊急的なものから対応していきたいので、よろしく願いしたい。